

平成30年度の予算は何にいくら使っているの？

○各会計予算

区	分	平成30年度	平成29年度	増減	伸び率	
一	般 会 計	68億 124万円	68億 5,919万円	△5,795万円	△0.8%	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	13億 4,653万円	16億 3,487万円	△2億 8,834万円	△17.6%	
	公共下水道事業特別会計	6億 6,227万円	6億 6,573万円	△346万円	△0.5%	
	介護保険特別会計	10億 3,961万円	10億 7,357万円	△3,396万円	△3.2%	
	簡易水道事業特別会計	9,851万円	1億 679万円	△828万円	△7.8%	
	後期高齢者医療特別会計	1億 5,908万円	1億 5,971万円	△63万円	△0.4%	
	計	33億 600万円	36億 4,067万円	△3億 3,467万円	△9.2%	
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計	収益的収支	3億 2,855万円	3億 8,920万円	△6,065万円	△15.6%
		資本的収支	1億 4,454万円	7,200万円	7,254万円	100.8%
	計	4億 7,309万円	4億 6,120万円	1,189万円	2.6%	
合 計		105億 8,033万円	109億 6,106万円	△3億 8,073万円	△3.5%	

平成30年度予算は、子育てしやすく、誰もが暮らしやすい生活環境の整備や産業、観光、文化芸術、スポーツ観光の振興など、当町のまちづくりを、着実に推進するための施策・事業に、財源を重点配分するとともに、第2期洞爺湖町まちづくり総合計画に基づく実施計画の重点事業に予算を配分した結果、一般会計の予算規模は、平成29年度当初予算額を5,795万円、率にして0.8%下回る、68億124万円となりました。

一般会計が減少したのは、前年度に実施した馬鈴薯選別機貯蔵施設整備補助事業の終了による農林水産業費の減などが主な要因です。

特別会計は、国民健康保険特別会計において、財政運営の主体が、町から北海道に移行することにより、共同事業拠出金が減少したほか、簡易水道事業特別会計においては、配水管移設工事などが減少し、特別会計全体として3億3,467万円が減少しました。

○会計について

洞爺湖町の予算は、一般会計と5の特別会計と企業会計で構成されています。

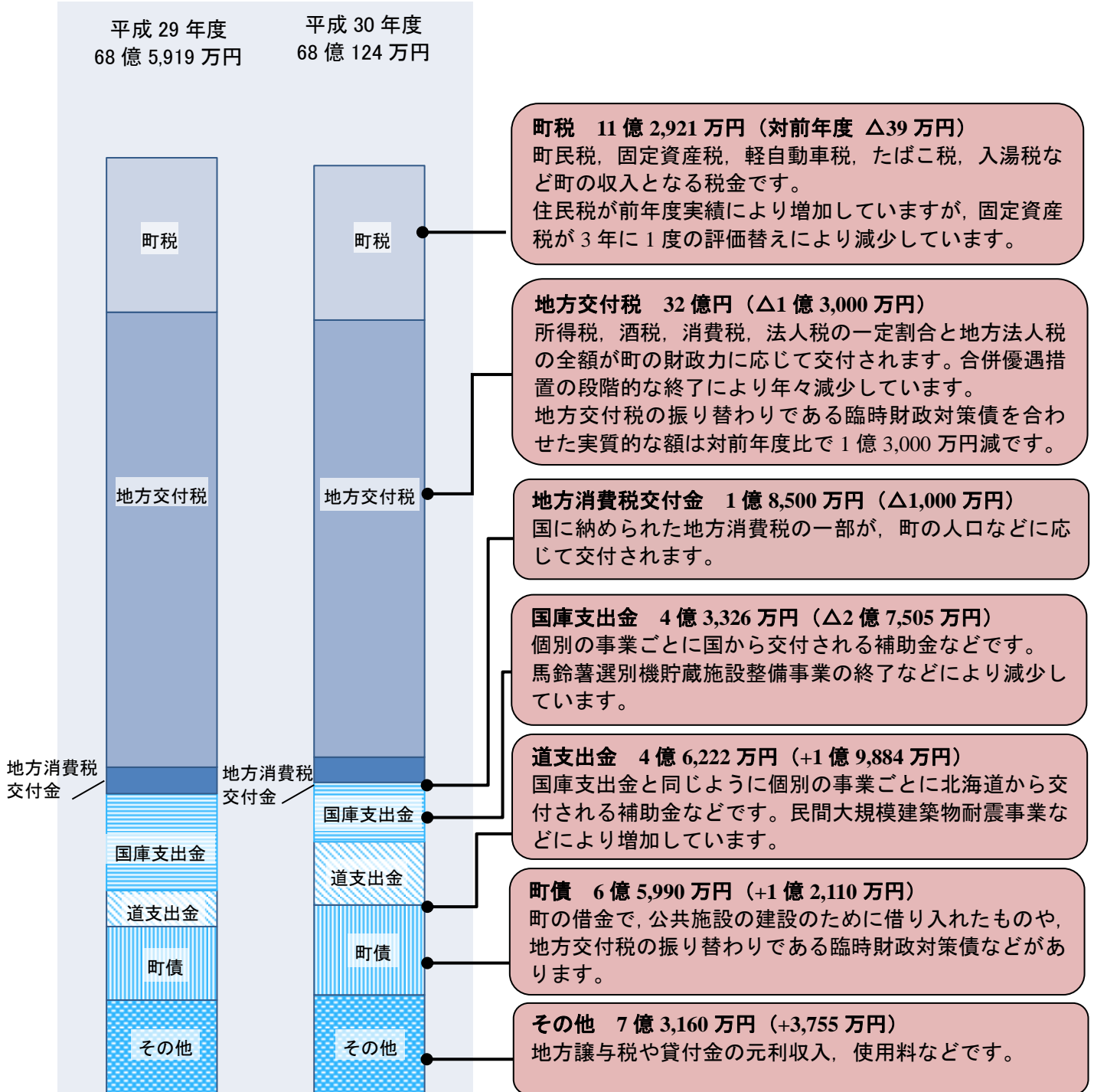
一般会計…道路や公園の整備、小・中学校の管理、福祉事業、町民活動の支援、ごみ処理、健康づくりなど、町民生活全般にわたる支出や収入などを経理する基本的な会計です。

特別会計…特定の収入を特定の事業に使う場合など、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けている会計です。

水道事業会計…水道事業は料金収入によって民間企業と同じようにサービスの提供や経営をしている「公営企業会計」です。

平成30年度の一般会計の歳入予算は怎么样了の？

○歳入予算（一般会計）の内訳

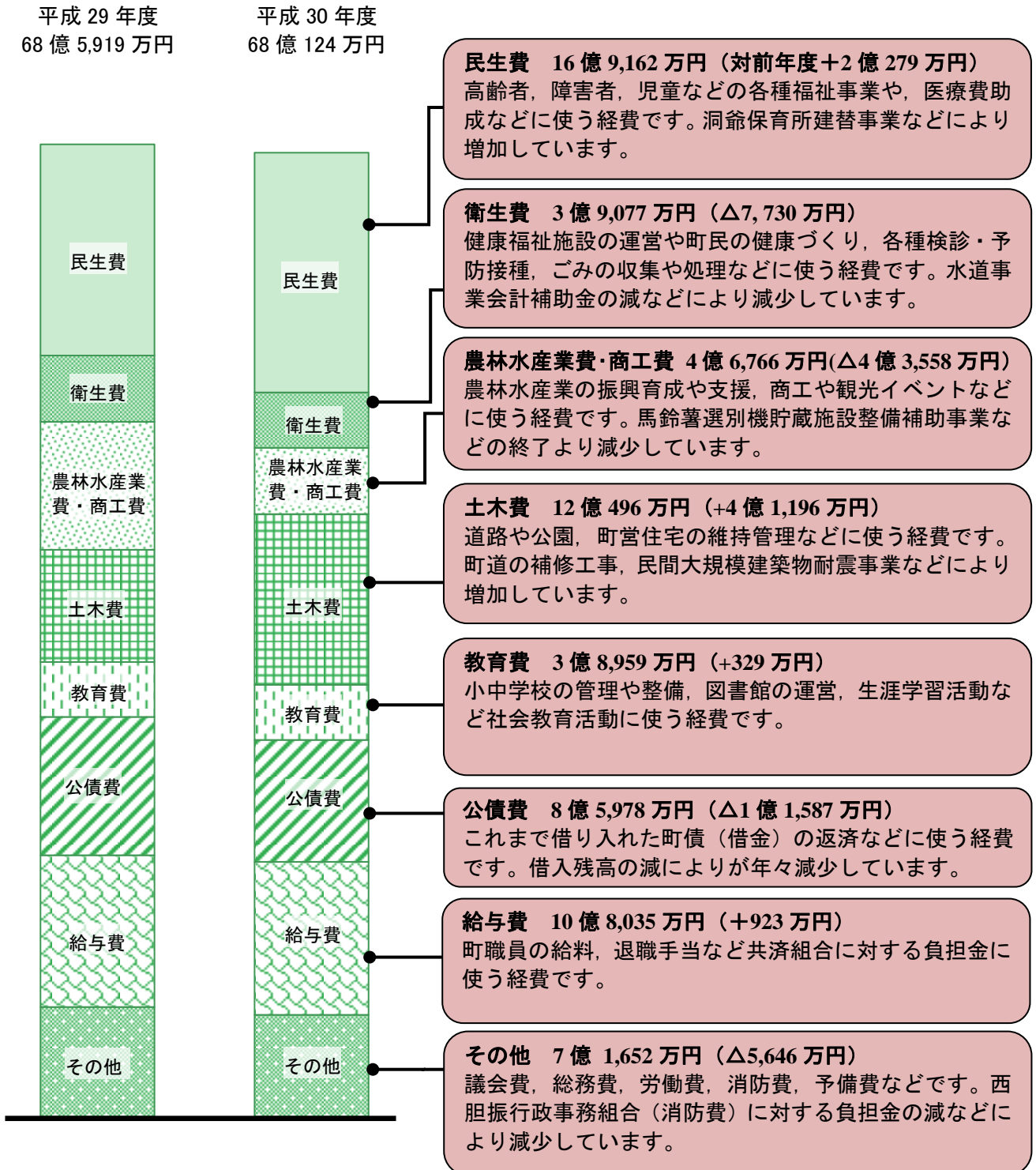


歳入では、町税収入を前年度とほぼ同額を見込んだほか、地方交付税のうち普通交付税が、町村合併から10年が経過し合併算定替の段階的な縮減などの影響で年々減少しています。

また、国庫支出金は馬鈴薯選別機貯蔵施設整備事業の終了などにより減少、道支出金は民間大規模建築物耐震事業などにより増加しています。

平成30年度の一般会計の歳出予算は怎么样了の？

○歳出予算（一般会計）の内訳



歳出では、洞爺保育所建替事業（民生費）、洞爺高校メモリアル公園整備事業（土木費）、民間大規模建築物耐震改修補助金（土木費）などを計上していますが、馬鈴薯選別機貯蔵施設整備事業（農林水産業費）、消防救助工作車、消防ポンプ車（消防費）更新事業などの終了により減少しています。